

薬物乱用防止講演を開催しました ～身近に潜む薬物犯罪について～

12月7日（水）本校体育館におきまして、1学年を対象とした薬物乱用防止講演を有田薬剤師会の抜井会長を講師としてお招きし開催しました。近年高校生や大学生など若い世代で増加している薬物問題。高校生にわかりやすい事例を挙げながら説明をしていただきました。とくに気になったことは、薬物がこんなに近く、また簡単に手に入るということ。インターネットやSNSを通じて、巧妙な手口で薬物の世界に引き込まれる恐ろしさや、海外旅行などに行った際に、土産を購入し日本に持ち帰り、日本の検疫で土産物の



物の中から薬物の成分が検出され知らないうちに薬物事件に巻き込まれているといったことでした。また薬物依存の怖さも改めて学びました。薬物は脳を破壊され、脳が萎縮し手が震え人格までもが破壊されていくことや、自らの意思では止めることができない依存性の怖さ、それに関係して薬物耐性についてなど、多くのことを学びました。生徒たちからは、「こんな身近に薬物事例があることにおどろいた」「たった一度の薬物使用で、自分の人生が終わってしま

薬物の怖さを再確認できた」「絶対に薬物使用はしない」「合法ドラッグや親しみやすい俗称で流通していることを知った。気をつけたい」などたくさんの方が声を聞きました。生徒たちは寒い中でしたが、熱心に話を聞いていました。

